

## 平成28年における交通事故の発生状況(速報)

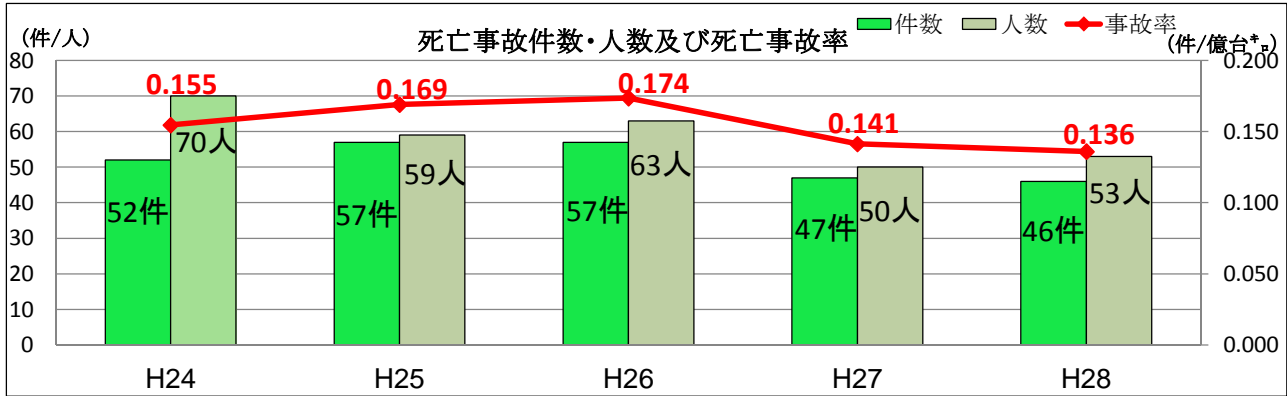
NEXCO東日本(東京都千代田区)管内における平成28年(1月1日~12月31日)に発生した交通事故件数等について取りまとめましたので報告いたします。

NEXCO東日本では、引き続き交通安全対策に積極的に取り組んで参ります。

注) 資料中の値はNEXCO東日本調べの速報値を用いています。

### 1-1 死亡事故件数及び死亡事故率(過去5年間)

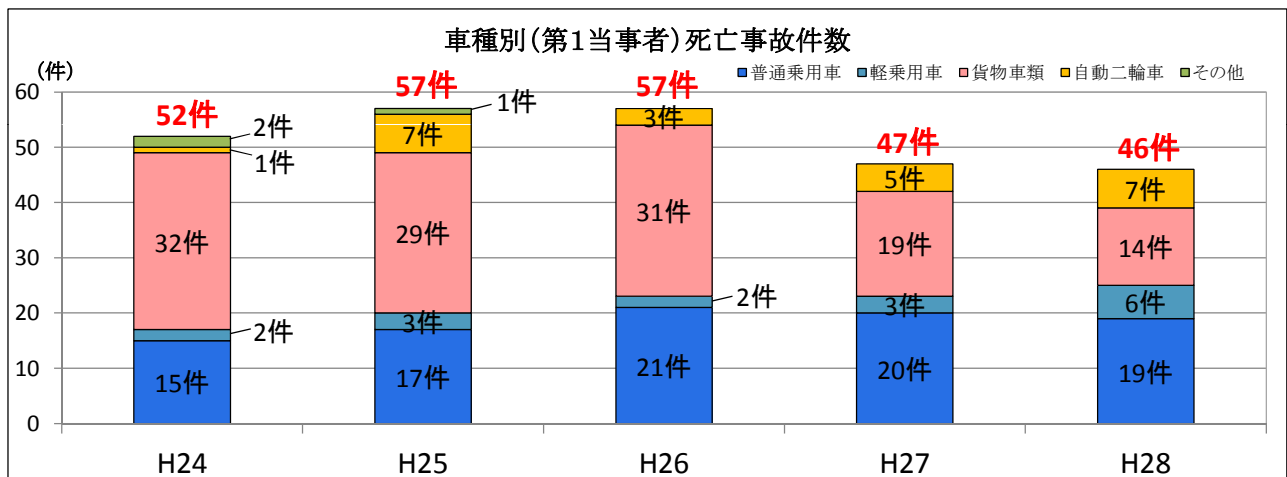
(NEXCO東日本調べ 速報値)



・死亡事故件数: 対H27年比較▲1件、対H26年比較▲11件  
 ・死亡事故人数: 対H27年比較+3人、対H26年比較▲10人  
 ・死亡事故率: 対H27年比較▲0.005件/億台\*、対H26年比較▲0.038件/億台\*

### 1-2 車種別(第1当事者)死亡事故件数(過去5年間)

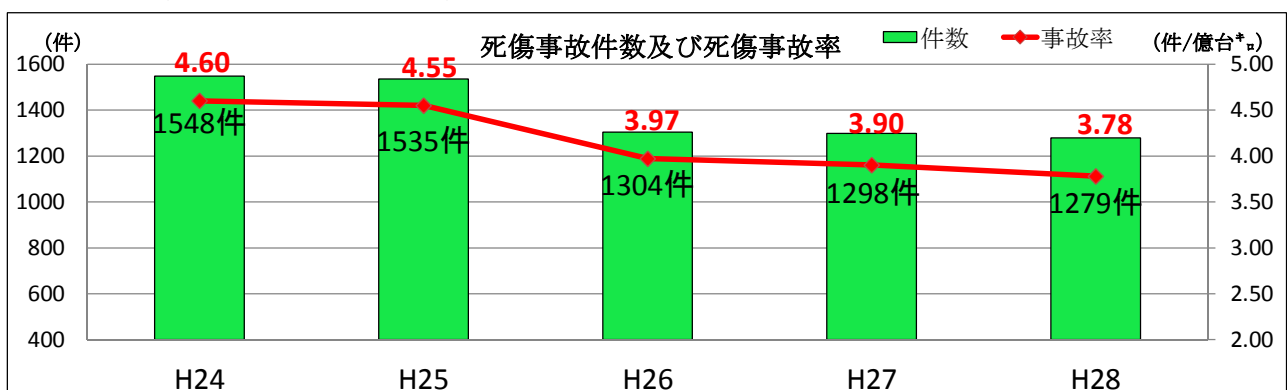
(NEXCO東日本調べ 速報値)



・貨物車類の件数は減少(対H27年比較▲5件、対H26年比較▲17件)  
 ・軽乗用車、自動二輪車の件数は増加  
 (軽乗用車: 対H27年比較+3件、対H26年比較+4件、自動二輪車: 対H27年比較+2件、対H26年比較+4件)

### 2 死傷事故件数及び死傷事故率(過去5年間)

(NEXCO東日本調べ 速報値)



・死傷事故件数: 対H27年比較▲19件、対H26年比較▲25件  
 ・死傷事故率: 対H27年比較▲0.12件/億台\*、対H26年比較▲0.19件/億台\*

# 平成28年 死亡事故の要因・事例紹介

死亡事故要因のキーワードは・・・

単独事故

人と車の事故

車外放出

平成28年の死亡事故は貨物車類の事故が減少し、乗用車類・自動二輪車が全体の約7割を占めています。事故形態別では、“単独事故”と“人と車の事故”が全体の半分を占めています。

## 単独事故

16件/46件・16名/53名

(乗用車類 9件・9名 自動二輪車 5件・5名)

漫然運転や運転操作の誤りによって防護柵などに衝突し、**死亡事故に至る痛ましい事故多発!**

発生	道路	事故概要
H28. 7	東北道	走行中、右に斜行したため慌ててハンドル操作を行ったところ、ハンドル操作を誤り、路肩防護柵に衝突。運転手が死亡。
H28. 8	関越道	自動二輪車が走行中、原因不明なるも中央分離帯に衝突後横転。運転手が死亡。
H28. 9	東北道	安全な速度で走行しなかったためスリップし、路肩防護柵に衝突後、中央分離帯に衝突。運転手が死亡。

## 人と車の事故

7件/46件・8名/53名

事故・故障の際、路上にとどまったことにより、**人が後続車に撥ねられる痛ましい事故多発!**  
高速道路は一般道とは違います。車のまわりには立たず、安全な場所へ避難してください。

発生	道路	事故概要
H28. 7	横浜横須賀道路	パンクしたタイヤを修理するために右後輪に輪止めをしようと走行車線にはみ出したところ、後続車に撥ねられ死亡。
H28. 10	東北道	走行車線に停止中の事故車を避けた際、路肩に避難していた事故車の運転手の発見が遅れ衝突。事故車の運転手が撥ねられ死亡。

## 車外放出による事故

4件/46件・4名/53名

シートベルト非着用や速度超過により、**車外放出され、死亡事故に至る痛ましい事故発生!**  
年々減少傾向ではあるものの、依然として看過できない状況です。全席シートベルト着用!

発生	道路	事故概要
H28. 9	東北道	走行中、左に斜行し路肩防護柵衝突後、中央分離帯に衝突。運転手はシートベルト非着用だったため、車外放出され死亡。

※平成28年12月末現在の死亡事故件数（NEXCO東日本調べ）

## ～高速道路における緊急時の対処法～

高速道路では、事故や故障で停止した車の運転手や同乗者が、後方から来た車にはねられ、死亡する事故が後を絶ちません。

高速道路は、一般道とは違います。

万一、事故や故障が起これば、後続車両に対する安全措置をとり、ガードレールの外側など道路外の安全な場所に退避しましょう！



### 【やむをえず高速道路に停車した場合は】

- ハザードランプを点灯し、停止表示器材・発炎筒などで後続車に対する安全措置をお願いします。
- 非常電話・道路緊急ダイヤル（#9910）で通報し、レッカーなどの専門会社に依頼しましょう！
- 後続車の運転手が故障車両等に気付いているとは限りません。故障車両に忘れ物等を取りに戻ることも非常に危険です！

### 【通行中のお客さまにお願いしたいこと】

- 高速道路を走行中、何らかの障害（事故や故障による停止車両、作業による規制等）を発見したら、すみやかに安全な速度まで減速し、注意して走行してください。
- 高速道路には歩行者がいらないと思いがちですが、停止車両のそばや陰に「人」が隠れていることがあります。万一に備えて、危険回避できるよう、注意して走行してください。

事故や故障など緊急事態を発見したら、道路緊急ダイヤル『#9910』へ

## ～冬道ドライブのポイント～

### ＊雪道には冬用タイヤを！チェーンの携行も忘れずに！

基本的に雪道では、スタッドレスタイヤ等の冬用タイヤか普通タイヤにタイヤチェーンを装着した状態での走行となります。ただし、冬用タイヤでも天候や路面状況によっては走行が困難な場合がありますので、タイヤチェーンも携行してください。

### ＊時間にゆとりのあるドライブ計画を！

降雪状況によっては、速度規制や通行止めが行われる場合もありますので、ゆとりのあるドライブ計画を立ててください。

### ＊雪道での“急”は禁物です！

急ハンドル・急ブレーキなどの“急”のつく操作は、滑りやすい雪道ではスリップ事故に繋がりがやすいので厳禁です。

### ＊車間距離を十分にとり、スピードは控えめに！

雪道では制動距離が長くなり、乾燥・湿潤路面よりも止まりにくいので、前車との車間距離を十分にとり、スピードは控えめにしておくことが大切です。

### ＊雪落としはこまめに！

車の屋根に雪が積もったまま走行すると、雪が塊となって落下する場合があります、後続車に対して非常に危険です。

走行前には必ず屋根の雪を落とすようお願いいたします。



## ～知っていますか？高速道路ご利用の際の心得～

### 故障トラブルの件数が増加しています

車両の点検(オイル・タイヤ・冷却水等)を確実に行いましょう。

### 積荷の落下等による落下物件数が増加しています

出発前や高速道路走行前には必ず積荷の点検をお願いします。

※「故障車・事故・落下物あり」の表示を見たら、速度を落とし注意して走行しましょう。



チャイルドシートも忘れずに！

### 後部座席でもシートベルトを着用！（全席着用義務化）

高速道路等の死亡事故で後部座席同乗者の死亡者のうち約7割がシートベルト非着用。全席着用義務となっていますので、後部座席同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう！

### 走行車線を走行し、安全速度を守りましょう！

追越しが終了したらその都度走行車線に戻り(キープレフトの原則)、安全速度と車間距離を確認することが大切です。追越車線ばかり走行していると道路交通法違反になる場合があります、速度超過や車間距離不保持になりやすく、目の前の危険に素早く対応できません。

※いつもと違う速度規制がされている場合は、近くに異状があると考え注意しましょう。情報板やハイウェイラジオで情報を収集し、進路前方の危険をいち早く察知することが大切です。

### 渋滞末尾の追突事故に注意しましょう！

交通量が多い場合や事故等により渋滞が発生します。十分な車間距離をとり、前方の状況に注意して走行しましょう。

### 給油やトイレはお早めに！ 適度な休憩をとって安全運転を！

居眠り運転や漫然運転は重大な事故につながります。休憩施設で早めの休息、早めの給油を心がけましょう。

**高速道路は一般道とは違います。**走行する際には、十分な事前準備と適度な緊張感が必要です。

## ～ルールとマナーを守り快適なドライブを！～



車に積もった雪は出発前に落としましょう！



自分の車のサイズに合った

駐車マスに停めましょう！



路肩は緊急車両のために

空けておきましょう！



追い越し後は後方確認をおこない、

走行車線に戻りましょう！



イライラ運転は思わぬ大事故に・・・

ゆとりを持ったドライブ計画を！



マナーアップキャラクター

「マナーティ」